

表紙裏 永遠の問題（新しき世界へ 1971年2月号）

桜沢如一

云い変えると、私は「永遠」に生きること、目前の幻象、現象、現実の世界にではなく、無限の「永遠」の、真象、真実、マコト、「幸福」に生きる万人向きの実用的な方法を、私の体験したままに語りたかったからである。

永遠の問題に一生没頭することのできる人がほんとうに幸福なんだ。永遠、おしまいのない問題を発見した人は幸福である。金や、名や、恋や、美しき衣食住や、この世の事業と云うもの、つまり人間的な欲望の対象となるものにはみな限りがある。それはみせかけだけの幸せで人々を囚人にするオトリにすぎない。

（「永遠の子供」より）

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください